

おわりに

1部の2回生は毎年、2部の3、4回生は隔年に、野外調査実習の授業を行なっている。テーマについては、その年々によって異なるが、基本的には聞き取りを中心としたフィールドワークの体験となっていることが多い。徳島県牟岐町出羽島を対象とした本調査は、2部の2~4回生と院生を中心に行なわれた。実は出羽島は、教員の水内が19年前に、京都大学文学部社会学の院生を中心に行なった調査に参加したことを機縁にして選ばれた。この1980年調査は本来であれば報告書を作成する予定であったが、原稿および調査資料は、その一部を水内が手元に有したまま、眠っていた。いつかは利用したいと思っていたが、一昨年(1998年)に離島漁村である出羽島を18年後に取り上げることは、その変遷を探る意味でも意義あることであると思ひ立ち、昨年(1998年)度の調査実習で一部の学生とともにプレ調査を行なった。その経験を踏まえて、昨年度の調査に参加した院生の筒井が中心となり、再度今年度に調査を行ったものである。

調査テーマは本文に述べられたとおりであるが、漁村を支える漁業については、学生たちの調査において触れられることの少ない、どちらかという漁村を支える生活面、教育面に重きを置いたテーマ設定を行なった。地理学の実習はそのテーマ設定が網羅的になり、出てきたアウトプットも良く言えば地誌として評価されることもあるが、羅列そして調べつきりという物足らなさも感じていた。こうした物足らなさを克服したいとずっと思ってきたのだが、なるべく学生の主体性を重んじつつ、時には助っ人として参加することが恒例となっている修士1年、博士1年の研究関心に即したテーマ、フィールドの選定を行なってきたので、水内が担当し始めてから本地理学教室としてのフィールドワークの特色はまだ明らかにし得ない段階である。

この調査は章構成から判明するように、非常に「素直な」テーマ設定となっている。調査スタイル、資料の収集、そして分析、論証の仕方についても学生にとっては、卒論作成のための第1歩を印したという感触を十分に得られたのではないかと、そう言う意味では、教育的配慮を見せた調査実習であったと思っている。特に院生と学部生との間の連携には教員としても非常に心強いものを感じた次第である。ただ残念なのは、1980年調査結果を昨年の調査に十分生かすことができなかつたことである。幸い、当時の調査の膨大なアンケート調査の原票などが京都大学のほうで保管されており、使用可能となっている。ただその確認が昨年の晩秋にずれこんでしまい、水内が本報告書で掲載した当時の調査レポートのその後を、昨夏の調査で生かすことが出来なかつたことについては、ぜひ違う形で明らかにしてみたいと思っている。いずれにせよ出羽島には活字資料が十分には残っておらず、島民のみなさんにも読んでいただけるといような観点で利用していただけるようなことがあれば、調査の意義もあつたということになるのではなからうか。ご笑覧いただけ

れば幸いである。

【謝辞】

本調査にあたっては多くの方々の協力を得た。特に調査団全体として、出羽島調査においては、部落会長の田中幸寿氏および田中節子氏には昨年度および今年度と2ヶ年度にわたって、宿舎を提供して頂くなど多大な便宜をはかって頂いた。また牟岐町役場関係では昨年度は古谷建氏、今年度は教育委員会学校教育課長の清水高司氏にお世話になった。伊島調査においては町会長の神野道男氏および阿南市教育委員会総務課課長補佐の日下準二氏、同技師の廣瀬司宜氏、学校教育課主幹の田村明敏氏にお世話になった。また京都大学の宝月誠先生、蘭信三先生はじめ関係各位には1980年の調査資料の使用を快く許可して頂いた。出羽島、伊島の住民の方々をはじめその他お世話になった方々のご健康とご多幸を祈りつつ、記して御礼申し上げる次第である。なお調査員が各々お世話になった方々に関してはそれぞれが謝しているためここでは割愛させて頂いた。ご了承を請う次第である。

(水内俊雄)

【編集後記】

なんとか発行にこぎつけた感がある。当初の予定よりも1ヶ月遅れである。執筆した学部生の中には就職活動を控えているものもあり、年度内完成が至上命題であったが達成できたことは幸いである。報告書作成のノウハウが全くない中から手探りで作成してきたが、特に学部生にとっては卒業論文作成へのワンステップとして様々な手法、技法を学んだと同時に、一つのことをやり遂げるという充実感を味わえたと思う。なお本報告書の編集作業は水内、筒井が中心となり、岡田、澤端がそれをサポートする形で行った。

(筒井一伸)

出羽島・伊島再発見

大阪市立大学文学部地理学野外調査実習報告書

2000年3月27日 発行

編集 大阪市立大学文学部地理学教室

発行 大阪市立大学文学部地理学教室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL・FAX 06-6605-2408

印刷 英和印刷有限会社

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 4-1-19

TEL 06-6623-8585

ISBN 4-9900537-7-X